

CASBEE札幌(暫定版)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ベガスベガス発寒店新築工事	階数	地上2階
建設地	札幌市西区発寒14条三丁目898-	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準工業地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分	1地域	年間使用時間	4,745 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2013年11月 予定	評価の実施日	2014年9月8日
敷地面積	13,196 m ²	作成者	株式会社オオキ建築事務所
建築面積	4,758 m ²	確認日	2014年9月8日
延床面積	5,564 m ²	確認者	株式会社オオキ建築事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE0.7

★:★★★★★ A:★★★★ B+:★★★ B:★★ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★:100%超 ☆☆:100% ☆☆☆:80% ☆☆☆☆:60% ☆☆☆☆☆:30%

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.5

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 2.8

LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項	
総合 自動水栓・節水便器やLED照明を利用し、節水や節電に努め、環境負荷の低減を図っている。	その他 0
W (Global Waiming) 省エネルギー・省資源 耐用年数の長い配管材を採用している。 LGS下地材を採用している。	G (Green) 緑化 外構緑化を実施している。
	S (Snow) 雪処理

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される